



図書館だより

＊【 】内は所蔵館名

『神の左手』
ポール・ホフマン（著）／講談社
不毛の荒野にそびえる巨大な建物。連れて来られた子どもたちは、10年におよぶ過酷な訓練の末、どこへ送り出されるのか？ケイルは仲間とともに脱出を図り、事態が動き出す。【葦山】

『これからの誕生日』穂高明（著）
／双葉社
バス事故の唯一の生存者・千春。どうして私だけ生き残ってしまったの。心の痛みを抱えた少女と、周りの人々の心模様。それぞれの『再出発』の物語。【長岡】

『死ぬ気まんまん』佐野洋子（著）
／光文社
「あたし、まだいーっぱい言いたいことがあるのよ」がンを患いながらも、元気に逝った絵本作家が遺した鮮烈なメッセージ。【長岡】

『密室晚餐会』二階堂黎人（編）
／原書房
衆人環視の連続殺人、わずか数時間で変わり果てる死体、断崖の消失…。ミステリー作家6人による『密室』競作集。【中央】

『くまのオットーとえほんのおうち』クレミンソン（作）／岩崎書店
ひとりぼっちになってしまったオットーは、えほんのなかから、そとのせかいへとびだしました。【中央】

いずのくに読書ウィーク

読書講演会

『尾松純子さんのおはなしの会』

幼い子から大人まで、さまざまな場で、生の声での語りを届ける“語り手”尾松純子さん。その一方、語り手の養成や、各地の社会教育講座の講師を務めています。今回は、市中央図書館で、楽しいおはなし会と、読み聞かせの勉強会を開きます。

日時 11月6日（日）13：30～15：30

会場 中央図書館2階視聴覚室

① 13：30～14：20 『親子で楽しむおはなし会』

対象 4歳～小学校低学年の子どもとその保護者

定員 25組（先着順）

② 14：30～16：00 『おはなし勉強会』

対象 読み聞かせ活動者など興味のある人

定員 50人（先着順）

申込み 10月4日（火）から

中央図書館カウンターまたは電話で申し込んでください。

申込み・問合せ 中央図書館 電話 0558-76-5566



信じよう、本の力

雑誌リサイクル

図書館で保存期間の過ぎた雑誌を無料配布します。（なくなり次第終了）

日時 10月29日（土）～11月6日（日）の開館日 9：00～17：30

※図書館によって雑誌の種類が異なります。袋などの入れ物はお持ちください。



問合せ

【中央図書館】 ☎ 0558 - 76 - 5566

毎週月曜日休館

【長岡図書館】 ☎ 055 - 947 - 2364

毎週月曜日休館

【葦山図書館】 ☎ 055 - 949 - 8605

毎週水曜日休館

《各館開館時間 9：00～17：30》

各館の休館日は、
今月のカレンダーや、
市ホームページなど
をご覧ください。



おはなし会

中央…10月8日（土）11：00～

長岡…10月20日（木）14：30～

葦山…10月8日（土）、22日（土）

各14：00～

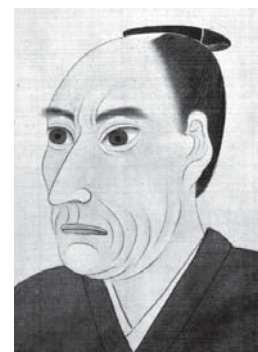
対象／赤ちゃん～小学校低学年くらいまで（申し込み不要）。

みなさんは、「江川坦庵（太郎左衛門英龍）公が眼鏡をかけていた」ということを、ご存じですか？
江川邸には、着物や文房具など、坦庵公が生前愛用していた品々が、今日にいたるまで大切に伝えられています。それら衣類や道具などには、坦庵の人柄を示すようなものも含まれています。例えば、普段身につけていたと思われる裁着袴は、あちこちに継ぎが当たっていて、坦庵公の質素儉約ぶりが偲ばれます。また、数多くの書画を生み出した筆や硯には、とことんまで使い込まれた様子を見て取る

おそらく、日々の仕事で文書を書くときや、書物を読むとき、プライベートでの書画制作などの際に、これらの眼鏡が活躍したのでしょうか。破損したのか、左の眼鏡のブリッジが、細い針金で補修してあるのも、また坦庵公らしいところですね。



江川坦庵公所用眼鏡（江川家蔵）



江川坦庵公自画像（江川家蔵）

質素儉約

愛用の眼鏡から坦庵公の精神が伝わってきます

ことができます。

そんな、坦庵公遺愛の品の中に『眼鏡』があります。眼鏡は二つあり、いずれもべっ甲縁で、丸いレンズのものです。当時の眼鏡には、現代の眼鏡のような、つるがなく、紐で耳にかけるようになっています。また、ブリッジの下の鼻にあたる部分は、鼻の高さに応じて角度を変えられるようになっていました。

よく知られている、坦庵公の自画像。この、威厳すら感じさせる相貌に、眼鏡をかけているところを想像すると…。歴史上の偉人が、なんだか身近に感じられるような気がしませんか？

文化協会 だより 66

市民文化祭終了
皆様のご支援
ありがとうございました

9月18日・19日に行われた市民文化祭も、無事終了することができました。これも市民の皆様のご支援があったからこそできたことと思います。大変ありがとうございました。

今年の文化祭のポスターは、四葉のクローバーをデザインしました。皆さんは、四葉のクローバーの葉には、それぞれ意味があることをご存じですか。一枚は『名声』、一枚は『富』、一枚は『愛』、一枚は『健康』を意味し、それら四枚揃って『真実の愛』を表しているそうです。また日本では、『幸せ』を運んでくれる葉として、とても喜ばれています。今年の文化祭をご覧になった皆さんにも、『幸せ』が届くよう願っています。

文化祭は、市民の芸術文化意識を向上させる場。各団体の異年齢の人たちが集まり、お互いに助けあう良い習慣、技術を広げることができ、将来の人間性を向上させる教育の場だと信じています。

文化祭をきっかけに各団体へ入会したい人は、事務局（文化振興課内）までお問い合わせください。

問合せ

文化振興課（葦山時代劇場内）
☎ 055（949）8600

